

## 5日間の新潟第二病院 研修を終えて

Holep（前立腺レーザー核出術）の見学のため新潟第二病院に5日間お世話になりました。今回は2回目であり1回目は1年前の第2回Holep勉強会 in 新潟でした。

1回目の見学でHolepはTUR-Pを超える手術と感じましたが、見様見真似ではなかなか習得の難しい術式と思っていました。2回目の今回は吉水先生と車田先生のご厚意により合計8例のHolepをみることができました。感謝の念に堪えません。

見学を終えて、やはり良い手術だなと実感しました。今回の8症例とも、内腺が20g前後の小さめのものから80g以上の大きな腺腫の症例も術後は血尿がほとんどなく、腺腫の残存もありませんでした。手術時間も1時間前後で終わってしまいました。

そして手術だけでなく、術直後および術後3か月の患者さんにお会いすることができましたが、皆満足そうでした。一連の経過を見た事と外来を見学することで、吉水先生の哲学と信念の一部を感じることができました。また、御自身の開発された手術手技をととても大事にしていらっしゃると感じました。

吉水先生が繰り返し強調されていましたが、内視鏡手術のエキスパートが平岡・吉水式Holepを鍛錬することで初めて合併症の少ない短時間での手術が実現するという事でした。自分自身が習得できるかどうかはまた別の話ではありますが、非常に完成度の高い術式と思いました。素晴らしい手術は美しさすら感じます。今後も各地の先生方が見学に来られて、平岡・吉水式Holepを習得されることで日本の前立腺肥大症治療に一石を投じることができるのではないかと思います。

私も今後習得のために努力を続けていこうと思います。ありがとうございました。